

四極会寄附講義「会社研究」令和4年度 第3回目

令和4年4月27日(水) 13時10分

講師 合同会社豊後大野まちむすび

代表 安藤 達哉氏(大学64回)

講師は29歳であり、受講生とほぼ同年代の若手として登壇され、最初の勤務先となったホテル「ザ・リッツ・カールトン東京」に対する熱い思いを生き生きと語られました。



きっかけは、中学生の時、市民図書館で見つけた「リッツ・カールトン物語」を読んだことからでした。

そこで働く人々がゲストとの信頼関係をどう築いていくのかといったソフト面に焦点をあてたその本の内容に触れたとき、どうしてもその場所に身を置きたいと思ったとのことでした。

10年来その思いを持ち続け、卒業間近の冬、クリスマスから翌年の正月まで、リッツ・カールトン東京の短期アルバイトに合格し、その年の4月に正社員として採用されたとのことでした。

全世界に展開する同ホテルでは、言われたことだけをするのではなく、彼らの期待を超えるようなサービスを提供する顧客満足はもちろん、従業員の満足にも力を入れているといった「リッツ・カールトンの心」を大切にしているとのことでした。

講師は現在、リッツ・カールトンから次のステップに進み、豊後大野市において体験移住型のゲストハウス、創業支援のためのオフィス、地元産の野菜の販売やそれを使った食堂などを備えた人口交流拠点を運営する会社の代表に就任されています。

これにより、環境に対する負荷をより少なくしても、人々を喜ばせることのできるような社会に貢献するしくみづくりを目指しているとのことでした。